

## 会議の要旨（議事録）

会議の名称	第4回鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議		
開催日時	平成27年8月4日（火）	開催場所	鳥栖市役所 2階第2会議室
出席者数	委員 5人 事務局 5人 市 9人 九州経済調査協会 4人 (会議運営支援)	傍聴人数	0人
議題	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 鳥栖市版総合戦略に関する意見書について</li><li>2. 鳥栖市版総合戦略に関する意見書の提出</li><li>3. 鳥栖市版総合戦略素案等について</li><li>4. その他</li></ol>		
配布資料	【資料1】 会議次第 【資料2】 鳥栖市版総合戦略に関する意見書 【資料3】 鳥栖市版総合戦略策定に関する経緯と今後の予定 【資料4】 鳥栖市人口ビジョン 【資料5】 鳥栖市版総合戦略における具体的な施策（案）絞り込み結果 【資料6】 “鳥栖発” 創生総合戦略概要 【資料7】 “鳥栖発” 創生総合戦略イメージ 【資料8】 “鳥栖発” 創生総合戦略		
所管課	（課名） 総合政策課 （電話番号） 85-3511		

## 第4回鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議議事録

### 議題1 鳥栖市版総合戦略に関する意見書について

(事務局)

これまでに有識者会議から多様な意見を頂きながら、総合戦略及び人口ビジョンの策定を進めてきた。今回、活動の集大成として、「意見書」として取りまとめたところである。

(戸田会長)

それでは、これを有識者会議からの意見書としたいと思うが、意見はないか。

(有識者一同)

意見なし。

(戸田会長)

4月25日の第1回有識者会議から約4カ月、委員の方々にはお忙しい中参加していただき、ときには深夜まで熱心な議論を行っていただき、本日、意見書を提出するまでに至った。有識者会議はこれで一つの区切りとなるが、今後の事業効果の検証などに可能な限り携わっていきたい。

### 議題2 鳥栖市版総合戦略に関する意見書の提出

～有識者会議を代表して、戸田会長から橋本市長へ意見書を提出～

### 議題3 鳥栖市版総合戦略素案等について

(事務局)

主な変更点として、人口ビジョンでは、今まで提示していたものに、1(3)「産業構造と人口流動」、3「目指すべき人口の将来展望」を追加している。

(有識者一同)

質問・意見なし。

(事務局)

施策(案)絞り込み結果では、今まで出していた施策案を、「実施予定事業」「一部修正して実施予定事業」「将来的な事業」「今回見送る事業」に分けている。見送る事業でも県内他自治体の動向に合わせて再検討することになるものが出るかもしれない。

総合戦略については本日名称が「鳥栖発 創生総合戦略」に決定した。また、「これからも、選ばれつづける鳥栖シティ！」がサブタイトル。

### 議題4 その他

(事務局)

有識者会議委員各位から会議に参加しての感想をいただきたい。

(戸田会長)

会長としては行き届かなかった所もあったかと思うが、一委員としては、貴重で楽しい時間を過ごさせていただいた。各委員が熱心に取り組んだと思うし、鳥栖市や九州経済調査協会の皆さんが熱心に取り組まれていいものが出来上がったと思う。

しかし、この政策をやればすぐうまく行くというものではないし、これで終わりというものでもない。今後とも鳥栖市が選ばれ続けるように応援し、なんらかの形で協力していきたい。

(中村委員)

いい勉強をさせていただいた。観光だけではない違う角度からの話、市町村や国がどのような施策で進んでいるのかが、私自身も勉強になった。この中で我々観光業がどうあるべきかも考えさせられた。

改めて鳥栖のファンになったし、引き続き仕事を通してお手伝いさせていただきたい。

(藤委員)

たくさん勉強させていただいた。一人の主婦として知らないことが多かったが、鳥栖市の特徴を活かすためにどうしたらいいかと思ったときに、若い世代が多い中で、その人たちがどれだけこの鳥栖市で安心して暮らせるかということが大事。常に視線を若いお母さんたちに向けていただき、より安心して生活しやすいようにしていただきたいと思う。

鳥栖市は住みやすいと言われ、子育て支援に関しても他に比べて充実していると言われているが、

「社会」ではなく「家庭」に目を向けるべきだと思う。社会も大事だが、一人ひとりの家庭をどれだけ充実させていくか、ということで大きな社会が成り立って行くと思うので、そういった考えを基本に、市のいろいろな仕組みができていくといいと思う。常に、市民目線で話を聞いて、それを基本にした政策を進めていただきたい。

(芹田委員)

この会議では、人口をどうやって増やしていくかという議論だったが、どうやったら住み良さなどを実感できるかということを考える会議でもあったと思う。

私自身会議に参加してもどかしいところもあった。日本の中の佐賀県の中の鳥栖市ということで、外部的要因でどうしようもないことがあるということもある。もう一つは、鳥栖に住んでいる人が実際にどのように住み良さを実感して幸せを感じられるような街にしていくかということについて、本当は人口を増やすこととは違う視点での議論も必要かなという思いもあった。人口という切り口では切りづらいものについても、市全体として施策を実施して欲しいし、何か力になれることがあれば一緒に考えて、鳥栖市が名実ともに誇れるような街になってくれればいいと思う。

(徳淵委員)

商工会議所の業務を通じて、地域の状況や市の取り組みについては話を聞いていたが、今回改めて、鳥栖市の地域の力を再確認できた。

鳥栖市だからできることがあると思うし、人口が増えることで鳥栖市の魅力が高まり、鳥栖市に仕事に来た人が市の魅力を感じ、転入してきてほしい。

具体的な施策でお手伝いできる場面もあると思う。

(事務局)

最後に市長から有識者会議の皆さまにご挨拶いたします。

(橋本市長)

4カ月という短い期間でこれだけの内容を消化し、それぞれの経験を活かし意見書にまとめていただき、ありがとうございます。普段、それぞれの分野で活躍されている皆様に委員としてご就任いただきましたが、我々の期待をはるかに超えた活躍をいただいたと思います。

人口ビジョンについて、念頭にあるのは、人口の年齢構成のバランスです。日本の中の佐賀県の中の鳥栖市なので、鳥栖市だけで生きていけるわけではありません。その中でいろいろな動きがあるでしょうが、一つの地域として見たときに、一定の安定的な人口バランスを維持することが、安全安心を感じていただき、快適に過ごすことができ、心豊かな活動ができる素地になると思います。そのためには、子供を産み育てたくなるまちになるべきですが、どうやって家計をやりくりしていくかという、働く場所の問題があります。

先人たちのおかげで、現在、鳥栖市は水や交通については素晴らしいまちですが、私たちが40年後、50年後に何が残せるのか、何をしなければいけないのか、何をしてはいけないのか、今回の総合戦略はその視点に立っています。我々の取り組みにより、いろいろな作用を生むでしょうが、反作用もあるでしょう。それを受けて、どうすべきか、対応していかなければいけません。その作業の繰り返しでしょう。

有識者会議の皆さまには、これからもそれぞれの立場で、我々の取り組みをチェックしていただき、また、ポイントごとに振り返っていただきたいと思いますので、是非、よろしくをお願いします。